

を新たに提案し、中心偏析や粒状偏析の定量的評価に採用する。偏析に及ぼす電磁攪拌とカルシウム処理の効果を調べる。鋼の連鉄スラブにおいて、電磁攪拌や低速鉄造によつてもたらされる等軸構造が定量的に比較される。

試料の調査から次の結果が得られた。

- (1) 電磁攪拌によつて中心偏析は抑制されるもの、粒状偏析は強調される。
- (2) 電磁攪拌によつてもたらされる等軸構造は低速鉄造によるものより細かい。
- (3) カルシウム処理は硫黄の中心偏析と粒状偏析の両者を抑制するのに大きな効果がある。

New Technology

New Tapered-rod Forming Process for Coil Springs

大同特殊鋼(株)・中央研究所

Radiation Thermometry Using Multiple Reflection

日本钢管(株)・システム技術研究所

A New Electromagnetic Testing Method Using Compound Magnetic Field

住友金属工業(株)・制御技術センター

Preprints for the 110th ISIJ Meeting—Part I

会員には「鉄と鋼」あるいは「Trans. ISIJ」のいずれかを毎号無料で配付いたします。「鉄と鋼」と「Trans. ISIJ」の両誌希望の会員には、特別料金 5,000 円の追加で両誌が配付されます。

図書案内

改 訂

条鋼マニュアル—形鋼編—

日本鉄鋼協会共同研究会条鋼部会編

B5判 170頁 定価 会員 2,500円 非会員 3,500円 (いずれも送料別)

条鋼マニュアル(形鋼編)は、形鋼製造に従事する方をはじめ、販売にたずさわる方、購買される方、あるいはファブリケーターの方など、広く形鋼に関連する方々に、圧延形鋼を理解していただくことを目的としてわかりやすく編集されております。初版を昭和47年発行し、広く利用されてまいりましたが、その後石油危機を転機として、諸情勢が大きく変り、ここに改訂版を発行いたしました。

(内 容)

1. 鉄鋼製造の概要	3.11 その他の形鋼	5.2 形状・外観の品質と管理
1.1 製鋼設備と製鋼作業	3.12 形鋼の2次加工品	5.3 材質検査
1.2 鋼片製造法	3.13 特殊用途に用いられる鋼	5.4 形鋼の規格
2. 鉄鋼の諸特性	4. 形鋼の製造工程ならびに設備	5.5 形鋼の溶接性
2.1 普通鋼の性質	4.1 製造工程概要	5.6 H形鋼の施工法
2.2 鉄鋼中の合金元素	4.2 素材	5.7 鋼矢板の施工性
3. 形鋼製品の種類と用途	4.3 加熱設備	5.8 耐候・耐食性
3.1 H形鋼	4.4 圧延設備	5.9 高温および低温特性
3.2 等辺山形鋼	4.5 切断作業	5.10 表面処理性—メッキ性—
3.3 不等辺山形鋼	4.6 冷却設備	6. 取引方式および取引の場合の注意事項
3.4 不等辺不等厚山形鋼	4.7 精整設備	6.1 国内取引
3.5 溝形鋼	4.8 検査	6.2 輸出取引
3.6 レールおよびレール付属品	4.9 表示・結束	7. 用語の解説
3.7 I形鋼	4.10 出荷	8. 統計資料
3.8 T形鋼	5. 形鋼の品質水準およびその管理	
3.9 鋼矢板	5.1 概要	
3.10 球平形鋼		

申込方法 次のいずれかの方法でご送金願います。

・現金書留 ①郵便振替(東京 7-193 番) ②銀行振込(第一勧業銀行・東京中央支店(普) No. 1167361)

問い合わせ先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4

経団連会館 3階 日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 (03) 279-6021